

日ASEANにおける海洋ごみ問題の課題と対策

—マレーシアのシンクタンクとオンラインセミナーを共催—

2022年1月17日

「ASEANの海洋ごみ問題の課題と取り組み」

講師：シェリル・リタ・カウル マレーシア海洋問題研究所 マラッカ海峡センター長

「海洋プラスチック問題に対する日本の化学産業界の取り組み」

講師：樋口 俊彦 日本化学工業協会 化学品管理部部長

ディスカッション

モデレータ：磯辺 篤彦 九州大学応用力学研究所 大気海洋環境研究センター教授

経済広報センターは1月17日、「ASEANと日本の海洋ごみ問題について考える」と題するオンラインセミナーをマレーシアのシンクタンクK S Iアジア太平洋戦略研究所と共催した。日本、マレーシアなど8カ国から、企業、業界団体の幹部ら約70名が参加した。

マレーシア海洋問題研究所のシェリル・リタ・カウル マラッカ海峡センター長と日本化学工業協会の樋口俊彦化学品管理部部長が、それぞれの海洋ごみ問題とプラスチック資源循環に関する現状と課題、具体的取り組みなどについて講演した。

カウル氏は、海洋ごみ問題に関するASEAN諸国の課題や取り組みを紹介。マレーシアでは、スウェーデンと協力して、シングルユース・プラスチックを2030年までにゼロにする計画等を含むポリシーを作成しており、現在、計画に基づき103の具体的なアクションを進めていると説明した。

樋口氏は、海洋ごみ削減に向けた日本のプラスチック資源循環に関する法整備や、日本企業の先進的な取り組みを紹介。あわせて、化学業界が設立した海洋プラスチック問題対応協議会が、①東南アジア諸国のプラスチック廃棄物管理能力向上を図るためのセミナーの開催②プラスチックの価値と資源循環の大切さを伝えるための若い世代向け教育DVDの作成ならびに英語・現地語への翻訳——などを通じて、東南アジア諸国を支援していると説明した。

両者の講演後に、九州大学の磯辺篤彦教授をモデレータとして、カウル、樋口両氏の3名でディスカッションを実施し、活発に意見を交わした。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。